

地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットについて

山形県地域医療構想における庄内構想区域の現状と課題

- 人口減少に伴い入院患者が減少しており、日本海総合病院、鶴岡市立庄内病院等の急性期の病床機能を有する基幹病院においても同様の傾向
- 今後、急性期病床の過剰及び回復期病床の不足が見込まれ、医療需要に対応した病床機能の整備が必要
- 病院経営を取り巻く環境が厳しさを増していくと見込まれる中で、高度急性期・急性期を担う病院における施設や高額医療機器等の整備、これらの医療に必要な人材の確保について、地域における効率的な整備のあり方の検討が必要
- 医療従事者の確保が厳しい状況にあっても、地域住民に不可欠な医療の提供が必要
- 看護職員、リハビリテーション関連職種、介護従事者など、在宅医療や介護を支える人材の確保が必要
- 透析患者数は増加傾向にあり、地域で透析を受けられる医療機関の維持・確保が必要
- 高度急性期・急性期を担う病院と回復期・慢性期を担う病院との機能分担や、地域包括ケアシステムを担う介護施設等との更なる連携の強化について、地域全体での検討が必要
- 在宅医療・介護サービスが切れ目なく一体的に提供される体制の構築に向けて、多職種連携による様々な取組みが実践されているが情報共有、制度周知などが課題

地域医療連携推進法人制度の活用

